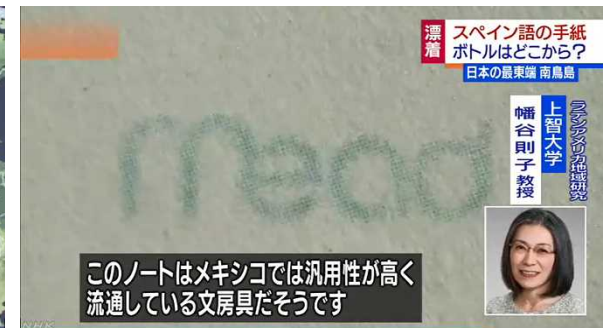
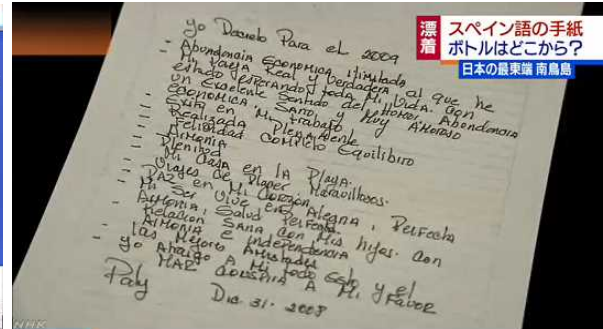


南鳥島に手紙が漂着し、NHKニュースに取り上げられました。

放映日時: 令和元年5月17日(金) NHKニュース首都圏ネットワーク(18時10分~19時)で放映

放映内容: スペイン語の手紙 ボトルはどこから?

【放映日時 令和元年5月17日 18:10~19:00(18:27~18:30) 約3分30秒】



※参考情報

- ・スペイン通信社(スペイン語圏の国に記事を配信している通信社。) コロンビア、パラグアイ、スペイン向けにネットで掲載されました。
- ・朝日新聞WEBサイトで掲載されました。

首都圏 NEWS WEB

南鳥島に手紙入りのボトル漂着



日本でも東側にある小笠原諸島の南鳥島の海岸で、今月、スペイン語で書かれた手紙の入ったボトルが見つかりました。国土交通省は、手紙の日付などからボトルは海外から流れ来たと推定し、10年余り漂着して前に流れ着いたとみられています。

国土交通省によりますと、今月7日、南鳥島に駐在する職員が海岸の漂着品をしていたとき、高さおよそ20センチのガラスのボトルが見つかりました。中には、スペイン語で書かれた手紙1枚が入っていて「2009年に向けた」として「仕事の成功」や「心の平和」、それに「子どもたちとの笑顔がとれずすぎる期間」など、さまざまな願いが綴られています。そして、最後に女性の名前とみられる署名と共に「2008年12月31日」の日付が記されています。

国土交通省は、手紙の日付や内容、それに海岸から、ボトルは中南米やアメリカの西部のスペイン語圏が送られてきたと推定されています。太平洋を10年余り漂流し、幸い付近の海流や漂着によって南鳥島に流れ着いたとみられています。南鳥島は東京の南東におよそ1950キロ離れた日本でも最東にある島で、漂着の維持管理や警備などのため国土交通省や海上自衛隊、それに気象庁のおよそ25人が駐在しています。

南鳥島に駐在する国土交通省の職員によりますと、ボトルは3分の1ほどが埋まった状態で見つかり、中には上下に半分折った状態の手紙が丸まって入っていたということです。

この職員は「南鳥島と聞いて、船中から途中で割れることもあるし、ほかの所に届くこともあると思うし、ロマンを感じます」と話しています。そのうえで「10年前に書いたことが、今になって読むことを喜ばれます。そして10年前に送られた手紙を日本の、しかも日本の最東端にいる人間が受け取ったという奇跡的な事をお伝えしたいと考えています」と話しています。

ラテンアメリカの地域研究を専攻している上智大学外国語学修士課程の幡谷則子教授は「メキシコに詳しい情報によると、手紙が書かれたノートはメキシコでよく流通している文具類なので、メキシコの人か、アメリカ在住のヒスパニックの人が書いた可能性が最も高い」と話しています。

また、手紙の内容について、「『平和』を意味する『armónico』や『四角い』を意味する『cuadrado』という単語が何回も出てくるのが印象的」と話しています。

全国ニュース
花嫁の母が死に別居 87歳のドライバーから狂言で脅かす (18時17分)
丸山議員発言 ロシア大規模に「日本の領有権を認めない」 (18時57分)
洋島の20日分の日食のP.小規模なマイナスの電力発生 (18時17分)
秋葉原まで 暴動として認めらば 暴動 (12時41分)
世界で映画競争 「電子コンピュータ」 東大が新記録 (18時33分)
読者の期待に応える 読者の期待に「国交省の対応が早い」 (18時17分)
体験 日本女子のニュース 上 藤田がNHKに出演 (18時09分)

ネット掲載(5月17日):NHK NEWS WEBに掲載されました。